

天の星


No. 3
令和元年
5月24日(金)
発行

～校長講話（5/20）より～

きょう はなし 今日の話

ことば ①『ありがとう』という言葉

ほん よ ②本を読もう




じどう かい 児童会スローガン


えがね 笑顔と「ありがとう」があふれる学校にしよう。

ことば ①『ありがとう』という言葉

「有り難し(ありがたし) ... 「有ることが難しい」


「めったにない」「あたりまえではない」

「有り難う(ありがとう)」




ほん よ ②本を読もう 読書週間

大工原朝代さんからいただきました。



平嶋信子さんからいただきました。




どく しょ は 読書は

こころ えい よう 心の栄養



しっかり聞いてくれてありがとう。

おわり



今日は、①「ありがとう」という言葉についてと②本を読もうということについてお話しします。

先週、4・5・6年生は児童総会がありました。今年の児童会の目標や計画を話し合いました。中込小学校がよりいい学校になるようにみんなで考え、とても活発な話し合いができました。今年の児童会のスローガンは6年生が考えてくれましたが、「笑顔とありがとうがあふれる学校にしよう」ということです。これは、校長先生もとてもいいスローガンだと思います。笑顔とありがとうがあふれる学校ということは、みんなが安心して過ごしやすい楽しくて「ああ明日も学校に来たいなあ」と思えるような学校だと思います。そういう学校にするために、それぞれの委員会ではいろいろなことを計画してくれています。

4・5・6年生ばかりでなくて1・2・3年生の人も、先生方もみんなで協力して児童会の活動を盛り上げていきましょう。さて、ありがとうという言葉について調べてみました。「ありがとう」という言葉の語源（言葉が出来た基になること）は、いろいろな説があるようですが、もともとは「有り難し」や「有り難い」という言葉が基になっているそうです。「有ることが難しい」ということつまりは「めったにない」「あたりまえではない」ということです。誰かに何かをしてもらうことは当たり前ではなくて、「ありがたい」ことなんだと思って「ありがとう」と言いたいと思います。4月に佐久市全部の校長先生方が中込小学校に集まって会議をしたことがあります。そのときに、たくさんの校長先生から、「中込小学校は新しい学校ではないですが、廊下などぴかぴかですね。普段のお掃除がしっかり出来ているのでしょうか。」と褒めてくださいました。いつも皆さん一人一人が一所懸命お掃除してくれているから学校がきれいです。ありがとうございます。

さて、②つめのお話は、今週は春の読書週間です。中込小学校の図書館には寄付していただいた本があります。大工原朝代さんは中込小学校の卒業生です。平成27年から本棚を2台と毎年たくさんの本を買わせていただき合計1000冊くらいの本を贈って下さいました。また、中込小学校卒業生の平嶋信子さんからも去年、本棚を3台と本を166冊贈っていただきました。大工原さんも平嶋さんも、中込小学校の後輩である皆さんの成長を願ってたくさん本を読んで欲しいということで寄付して下さいました。図書館にこんな紙が張ってあります。「読書は心の栄養」です。ちょっとテレビのスイッチを切ったり、ゲームの時間を短くしたりして本を読みましよう。いろいろな本と出会えるといいですね。

今日は、「ありがとう」の言葉と「本をたくさん読もう」というお話でした。しっかり聞いてくれてありがとうございました。

～保護者の皆様へ～

校長講話の後、早速、図書館に行き、寄付していただいた本を手取る子どももいたようです。学校でも、読書週間の今週は、いろいろな取り組みをしました。地域のボランティアの方や保護者の皆様による読み聞かせも、子どもたちは大好きです。学校では、引き続き読書の取り組みを進めていきますので、お忙しいとは存じますが、ご家庭でも本のお話を話したり、一緒に読んだりしていただくとありがたいです。

また、日頃から子どもたちの挨拶や言葉遣いについては、いろいろな場面で話題になっていますが、児童会でも「ありがとう」を大事にしようと子どもたちが考えてくれました。ありがたいことです。私たちは一人では生きてはいけません。家族はもちろん、地域の皆さん、学校の友達や先生方などの他にも、目には見えないけれど本当に多くの人のおかげで生きています。何かをしてもらうことを当たり前と思うのではなく「ありがとう」の感謝の気持ちを持ち、人間関係をつくっていく、そんな温かい家庭・地域・学校にしていきたいと思います。

【わいせつな行為根絶のための取り組みについて】

4/19の参観日に行った校長講話の中でも、教職員の飲酒運転・わいせつ行為・体罰などは、中込小学校の職員は絶対にしないということをお伝えしました。研修も行ってあります。このような中、5月に県内の小学校教諭が住宅侵入の容疑で逮捕されるという誠に遺憾な事案が発生してしまいました。子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、大変ご心配をおかけしていることと思っております。

わいせつな行為は、被害者の人権をふみにじり、子どもたちや保護者をはじめ、市民の学校教育への信頼を著しく失墜させる悪質な行為であり、絶対に許されるものではありません。

本校では、わいせつな行為根絶のための取り組みとして、このような事案を「他人ごと」とせず、「自分ごと」と捉え、「わいせつな行為根絶のための特別対策」の取組を確実に実施するとともに、以下のように校内ルールの明文化と徹底を図り、具体的な取組を確実に行って参りたいと思っております。

<中込小校内ルール>

- ①児童・生徒と教室や研究室等で外から見えない状態で1対1にならない。相談等ではドアを開放したり、複数で応じたりする。やむを得ない場合は校長室等に連絡の上、指定された場所で行う。
- ②教室、特別教室、その他の諸室の管理等を適正に行う。ドアの小窓などにポスター等の掲示物は貼らず、外から誰もが見えるようにする。
- ③私的な電話、メール、SNS等によるやり取りはしない。
- ④児童への身体へは、安全確保等社会的通念上認められるもの以外、接触しない。
- ⑤教育目的外はもちろん、教育目的でも不必要な児童の撮影や録画をしない。
- ⑥教育目的外で児童に性に関することを話題にしたり、質問したりすることはしない。
- ⑦わいせつ行為が疑われるときはもとより、室管理が不適切であったり、指導方法が不適切と感じられたりするときは、躊躇することなく校長等に報告する。あるいは、校内相談窓口又は校外通報・相談窓口へ連絡する。

*本校の相談窓口は、校長室、職員室、保健室となっています。ご心配のことがありましたら、ご連絡下さい。

相談窓口（そうだんまどぐち）

